

2025年4月28日

当院で心肺運動負荷試験を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みにになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2015年1月～2020年12月の間に心肺運動負荷試験を受けられた慢性心不全の方

【研究課題名】慢性心不全における機械学習アルゴリズムを用いた運動耐容能予測の検討（多施設共同後ろ向き研究）

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 副院長 野口 輝夫

【研究の目的】運動耐容能と慢性心不全の病態との関連を調査します。運動耐容能とは、運動負荷に耐え得るために必要となる心肺機能のことで、この指標は予後推定やリハビリテーションなど治療計画をする際に重要なものです。本研究によって、この運動耐容能がより簡便に予測できることで幅広い領域に役立つことを目的としています。

【利用する診療情報】

生年月日、性別、身長、体重、心疾患病名、心疾患手術歴、合併症、既往歴、喫煙歴、症状、投薬内容、心肺運動負荷検査、心電図検査、血液検査（白血球数、白血球分画、リンパ球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、MCV、血小板数、総蛋白、アルブミン、フェリチン、血清鉄、総鉄結合能、AST、ALT、 $\gamma$ -GTP、総ビリルビン、ALP、UN、Cre、UA、HbA1c、総コレステロール値、LDL、HDL、TG、Na、K、Cl、CRP、CK、ChE、D-Dimer、BNP、NT-pro BNP、トロポニン）、胸部レントゲン検査、心臓超音波検査、体力検査（両上肢握力、両下肢膝伸展筋力）、体組成、右心カテーテル検査、肺換気能検査

【情報の管理責任者】国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【外部機関への研究データの提供】

上記の診療情報を、次の研究機関に個人が特定されないように処理（匿名化）した上で提供を行い、共同で研究を進めます。提供方法は、郵送/手渡しにより行います。

・ 共同研究機関及び研究責任者

1. 大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学 坂田 泰史
2. 大阪府済生会千里病院循環器内科 加藤 大志

【研究期間】 研究許可日より2026年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、この研究では将来、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 担当医師 三浦 弘之  
電話 06-6170-1070(代表)